

第 29 回 金融庁契約監視委員会の概要

○開催日時：令和 2 年 12 月 4 日（金）10 時 00 分～11 時 55 分

○開催場所：中央合同庁舎第 7 号館西館 12 階 共用第 2 特別会議室

○出席者：赤松委員長、石島委員、大村委員

○議題：

（1）事務局説明

金融庁における令和 2 年度上半期の契約状況について（別紙参照）

（2）契約担当者説明及び質疑応答

個別契約に係る審議について

- ① 公認会計士試験における受験願書のインターネット受付業務 一式
- ② エンドポイント脅威対策機器運用支援 一式
- ③ 会議・会談等に係る通訳業務 一式
- ④ 金融商品取引法違反審判事件に係る開始決定書等の翻訳請負業務（日本語→中国語（簡体語）） 一式
- ⑤ 有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）の次期システムの構築業務 一式

○主な審議内容

・個別契約に係る審議

質問・意見	説明
<p><一者応札・一者応募関係></p> <p>①公認会計士試験における受験願書のインターネット受付業務 一式</p> <p>・一者応札とならないためにどのような取り組みをしたのか。</p>	<p>・複数の事業者に対して、事前に調達の仕様の確認をお願いしてご意見をいただき、その意見を踏まえた仕様書を作成して調達を行った。また、事業者が入札について十分な検討ができるように公告期間を長めに確保すること、当該システムに関する情報提供を充実させることに努めている。</p>

②エンドポイント脅威対策機器運用支援一式

- ・一者応札から改善した理由は何か（どのような工夫をしたのか）。

・ここ数年の間で当該製品の販売・運用を取り扱う国内の事業者が増えてきたため、平成31年度より、製品への理解度を持ち高度な技術が扱える事業者のほかに、一定以上の運用技術を持つ事業者に対しても声掛けを行ってきた結果、本年度において一者応札が改善されたものである。

③会議・会談等に係る通訳業務一式

- ・一者応札から改善した理由は何か（どのような工夫をしたのか）。

・前年度の一般競争入札では、事業者が入札条件であるプライバシーマークを取得していなかったため一者応札となった。本年度においては、当該事業者が入札条件を満たしたうえで入札に参加したほか、前年度の入札参加者以外の事業者からも入札の申込みがあり、一者応札が改善されたものである。

- ・通訳の品質確保を目的として、事後的に検証するために、担当者から報告してもらうなどのルールはあるか。

・通訳の質が悪い場合には、担当者からご指摘をうけることもあるが、フォローアップのための明確なルールはないので、今後検討していきたい。

④金融商品取引法違反審判事件に係る開始決定書等の翻訳請負業務（日本語→中国語（簡体語））一式

- ・低落札となった経緯（理由）。

・コロナ禍で仕事が減少していることから売上確保のため低価格で入札を行ったものである。

- ・翻訳会社の品質に関する情報について、蓄積されているのか。

・英語の翻訳は過去の実績も多数あり、翻訳会社の情報の蓄積もある。中国語に関しては、関係部局においてスポット契約の履行が進む中で、今後、一定の情報の蓄積が進むと考えている。

<p>⑤有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）の次期システムの構築業務 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低落札となった経緯（理由）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的対話で提示された技術提案の改善やコスト削減策のなかで、効果的又は重要な改善点等はどのようなものがあったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者において、調達公告後から入札書作成までの間に現行システムの設計書等の資料を閲覧することにより、システムの理解が進むとともに、事業者が有する既存資源の流用により費用を抑えられる目途が立つなど、よりの確な技術提案及び費用を抑えた入札価格の設定が可能となったことから、低落札となったものである。 ・ クラウドの特性を活かした、災害発生時でも短時間で復旧が可能となるようなシステム構成に関する改善提案があった。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上

令和2年度上半期の契約概況

【契約件数実績】※比率は対合計件数

		上半期	(参考)前年度上半期	
競争性のある調達方式	件数	114	99	
	比率※	71%	71%	
	競争入札	件数	78	58
		比率	48%	42%
	一者応札	件数	44※	28
		比率	27%	20%
	企画競争	件数	3	3
		比率	2%	2%
	公募	件数	33	38
		比率	20%	27%
競争性のない随意契約		件数	47	
		比率	29%	
合計		件数	161	
		比率	100%	

【契約件数実績:平成29～令和元年度】

		29年度	30年度	元年度	
競争性のある調達方式	件数	151	128	143	
	比率	76%	74%	76%	
	競争入札	件数	99	81	87
		比率	50%	47%	47%
	一者応札	件数	28	29	34
		比率	14%	17%	18%
	企画競争	件数	11	12	8
		比率	5%	7%	4%
	公募	件数	41	35	48
		比率	21%	20%	26%
競争性のない随意契約		件数	48	46	
		比率	24%	26%	
合計		件数	199	174	
		比率	100%	100%	
契約金額実績		45.6億円	47.6億円	39.6億円	

※一者応札となった主な要因等(不参加事業者への確認結果等)

- ・他案件と重なるなど業務スケジュール的に人的リソースを割くのが困難
- ・競争力ある価格を提示することが困難
- ・プライバシーマーク等の参加資格を満たしていない
- ・コロナ禍において納品が困難、業務が多忙
ほか
⇒調達に関する各種期間の短さがネックとなっているものにつき期間を確保できるように見直すことなどを検討